

2018/04/24

国際文化学部国際文化学科 3 年

16011004 市木 陽

# 青島市と青島大学

## 1. 青島市について

青島市は、中国東部の山東省にあり、多くの高層ビルや公園があり、黄海に面するビーチを有する中国の主要な港湾都市のひとつです。またこの街は高層ビルや大型ショッピングモールなどの都会的な面と山や少し古い建物などのほっとするような田舎的な面の両面を持っています。さらに、かつてドイツの占領下にあったことから、西洋の文化の影響を受けた歴史的な街でもあります。ドイツ様式の建造物など、西洋風の街並みの残る地域もあります。そして青島は青島ビールが有名で、青島国際ビール祭は青島市の一大イベントとなっています。



## 2. 青島大学について

私が留学している青島大学は山東省青島市に位置する総合大学です。学部生が約三万五千、大学院生が約九千六百人、留学生だけでも約千六百人と規模の大きい大学です。また、中国で設立当初から外国人の受け入れを許可された大学のひとつで、非常に歴史のある大学です。国際教育交流や留学生教育に力を入れており、世界 20 か国以上の留学生が学んでいます。大学の敷地面積も非常に広く、敷地内には図書館、食堂、ゲストハウスを兼ねたホテル、大学附属病院、宿舎、運動場など多くの施設があります。

山口県立大学とは 2004 年に学術交流協定が締結され、毎年、交換留学生として青島大学への 3 名程度の派遣と、青島大学からの 3 名程度の受け入れが行われています。

## 3. 寮生活について

青島大学には敏行楼と新楼と呼ばれる 2 種類の寮があります。私は敏行楼に住んでおり、比較的新しく綺麗な建物です。寮費は南向きや北向き、ベランダの有無などによって異なります。

部屋にはエアコン、トイレ、シャワー、ベッド、勉強机、棚、クローゼットなどが備わっ

ていて、快適にすごすことができます。シャワーは時間帯によってお湯の出にくい時間があるので、早めの時間帯に入ることが必要です。

青島は3月、4月でもまだ肌寒い日が続くのですが、エアコンの使用料金は寮費とは別料金となるため、使用しないようにしています。ただ、肌寒い時期には暖気という無料設備の暖房器具が部屋を暖めてくれるため、エアコンを使用する必要はないと感じました。しかし、清明節以降は暖気の停止により、部屋の中でも肌寒くなるため、電気毛布や分厚めの毛布などがあるといいと思いました。共同キッチンはありませんが、給湯設備はあります。

敏行楼の一階にはグローバルオフィスがあり、留学生活で不明な点や不安な点がある時はすぐに相談しに行くことができます。また、一階には洗濯場があります。留学生の数に対し洗濯機が約10台しかないため、計画的に洗濯をするか、早朝など使用する人の少ない時間帯に洗濯をするとよいと思いました。敏行楼を出ると、すぐ近くにセブンイレブンと飲み物売っている店があり、とても便利です。

#### 4. 授業について

青島大学での授業は、午前中に4つ授業があります。8時半から授業が始まり、1コマ50分の授業を4つ行い、12時20分に終了します。クラスによって科目数が異なり、私は3科目履修しています。授業クラスは自分のレベルや先生との相性を考慮して決めることができます。そのため、不安を感じることなく毎日楽しく授業を受けることができます。

授業が終わると、そのままクラスメートと一緒に昼食を食べに行くことが多いです。食堂や大学近くの店で食べる日もあれば、テイクアウトして部屋で食べる日もあり、昼食は一日の楽しみの一つとなっています。中国の料理は「南甜北咸东辣西酸」という言葉があるように、地域によって食べ物の基本的な味が異なります。青島の料理は「咸＝しょっぱい」味付けです。人によって味覚は異なりますが、青島の料理は日本人の舌に合いやすいと思います。

#### 5. 青島での生活について

青島での生活はとても便利です。大学の敷地内にはいくつかのスーパーや大きな学生食堂などがあり、たいいていのことは大学内で済みます。大学の外には、バスに乗って数十分で行くことのできる飲食店やショッピングモールが多くあり、不自由に感じることはありません。

青島は観光都市でもあるため訪れる場所がたくさんあり、毎週末に青島観光を楽しむことができます。交通手段はバスが主流で、多くの人がバスを利用して移動します。



バスの本数は比較的多く、乗車距離に関係なく 1 元で利用することができるため、非常に便利です。

## 6. 中国の電子マネー事情について

中国は世界でも電子マネーが非常に普及している国の一つです。ほとんどの中国人はスマホでお金を払います。日本人のように財布を持ち歩く必要はなく、スマホさえ持っていれば何でも買うことができます。私自身、中国に来てから中国の進んだ電子マネー事情を実感しています。私も何か買うとき、電子マネーでの支払いを利用していますが、非常に便利です。大きなスーパーから、小さなお店や屋台まで、どんなお店も電子マネーで支払うことができます。日本でも電子マネーは少しずつ普及しつつありますが、まだまだ紙幣での支払いが主流です。近い未来日本でも財布の持たない時代が来るのか、気になるところですが、中国の電子マネー事情は日本より一歩も二歩も先に進んでおり、非常に興味深い点だと思います。

中国は地域によって人々の性格が異なると言われていますが、青島の人々は温和な人が多いように感じます。青島市は比較的外国人の多い地域です。そのためなのかは分かりませんが、青島の人々は外国人だからと避ける人は少ないように感じますし、外国人に対する理解を持って接してくれる人が多いように感じます。青島は外国人にとって比較的住みやすい街であると思います。

